2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月4日

上場会社名　株式会社 サンユウ　　上場取引所　東
コード番号　5697　URL https://www.sanyu-cfs.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 喜多章
問合せ先責任者　(役職名) 取締役上席執行役員財務部長　(氏名) 清家徹　TEL 072-858-1251

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	14,012	10.6	703	57.2	767	58.7	468	55.4
2026年3月期中間期	12,672	5.8	447	47.2	483	44.2	301	57.6

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　521百万円　(57.3%)　2026年3月期中間期　331百万円　(48.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	77.55	―
2026年3月期中間期	49.90	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	22,788	11,888	46.6	1,757.70
2026年3月期	21,364	11,082	48.4	1,710.25

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　10,624百万円　2026年3月期　10,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	30.00	30.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	11.4	1,250	40.9	1,350	39.7	800	30.8	132.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 有

新規 1 社 (社名) 株式会社メガサス 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	6,091,000 株	2026年3月期	6,091,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	46,570 株	2026年3月期	46,570 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	6,044,430 株	2026年3月期中間期	6,044,430 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の拡大による設備投資の増加により、景気は緩やかに回復いたしましたが、継続する物価上昇に加え、中東をはじめとする不安定な国際情勢による影響を受け、依然として厳しい状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼、及び冷間圧造用鋼線の主要需要分野である自動車業界におきましては、米国トランプ政権による関税政策の影響があった前年同期に比して生産活動は回復基調にあり、加えて建産機業界でも持ち直しの動きが見られました。

このような環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の確保、コスト削減、及び生産性の向上を推し進めるとともに、労務費・諸資材・エネルギー・物流コスト等の上昇を吸収すべく実施した加工賃是正に加え鋼材値上げによる製品販売価格の改定、製品歩留りの改善、及びエネルギー原単位の削減等に努め、収益の確保に取り組んでおります。

また、当社は2026年第２四半期に当社グループの大阪ミガキ株式会社が35.0%の株式を保有している株式会社メガサスと当社グループとの製造・開発等での一層のシナジー効果を創出すべく、株式会社メガサスの株式の30.0%を取得し、当社グループの連結子会社といたしました。

これらの結果、販売数量は前年同期比6.6%増となり、売上高は14,012百万円（前年同期比10.6%増）と増収となりました。損益につきましても、人財確保に向けた賃金アップ等による影響があったものの、先述の製品販売価格の改定、及びエネルギー原単位の削減等により、営業利益は703百万円（前年同期比57.2%増）、経常利益は767百万円（前年同期比58.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は468百万円（前年同期比55.4%増）と増益となりました。

事業部門別の経営成績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、売上高は9,393百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、売上高は4,618百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産の残高は22,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,424百万円増加いたしました。これは主に、㈱メガサスを子会社化したことなどにより、原材料及び貯蔵品が366百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が219百万円、有形固定資産が886百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における負債の残高は10,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ618百万円増加いたしました。これは主に、㈱メガサスを子会社化したことなどにより、支払手形及び買掛金が459百万円、長期借入金が312百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産の残高は11,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ805百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が287百万円、非支配株主持分が518百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,255百万円となり、前連結会計年度末に比べ444百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は754百万円（前年同期は914百万円の獲得）となりました。これは主に、仕入債務の減少453百万円、法人税等の支払額200百万円により資金が減少しましたが、税金等調整前中間純利益772百万円や売上債権の減少255百万円、減価償却費219百万円により資金が増加したことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は785百万円（前年同期は320百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出500百万円、有形固定資産の取得による支出300百万円により資金が減少したことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は413百万円（前年同期は392百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減額121百万円や配当金の支払額181百万円、長期借入金の返済による支出77百万円により資金が減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績の進捗状況を踏まえ、通期業績予想について修正いたしました。

詳細につきましては、本日（11月４日）公表いたしました「2027年３月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,700,030	4,755,576
受取手形、売掛金及び契約資産	3,115,859	3,335,595
電子記録債権	2,156,324	2,130,709
商品及び製品	2,665,468	2,827,439
仕掛品	386,841	513,039
原材料及び貯蔵品	2,532,494	2,899,127
その他	80,549	67,903
貸倒引当金	△28,875	△34,201
流動資産合計	15,608,692	16,495,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,374,232	1,703,255
機械装置及び運搬具（純額）	1,177,172	1,421,699
土地	2,004,260	2,459,260
リース資産（純額）	54,010	61,972
建設仮勘定	172,173	2,000
その他（純額）	43,590	63,773
有形固定資産合計	4,825,439	5,711,962
無形固定資産		
のれん	－	11,828
その他	87,082	130,254
無形固定資産合計	87,082	142,083
投資その他の資産		
投資有価証券	546,408	67,960
出資金	70,900	70,910
長期貸付金	1,653	1,266
破産更生債権等	0	334
繰延税金資産	200,570	264,758
その他	23,405	34,169
貸倒引当金	－	△334
投資その他の資産合計	842,937	439,065
固定資産合計	5,755,459	6,293,110
資産合計	21,364,152	22,788,300

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,182,090	2,641,557
電子記録債務	5,675,379	5,303,252
短期借入金	840,000	758,422
１年内返済予定の長期借入金	109,368	179,888
リース債務	21,861	23,722
未払法人税等	213,073	299,796
賞与引当金	271,522	288,927
その他	549,980	644,926
流動負債合計	9,863,276	10,140,492
固定負債		
長期借入金	119,332	432,170
リース債務	37,358	43,490
繰延税金負債	20,933	20,504
退職給付に係る負債	166,200	178,774
資産除去債務	64,514	64,546
長期預り金	10,074	20,106
固定負債合計	418,411	759,592
負債合計	10,281,688	10,900,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,399,205	1,399,205
利益剰余金	7,434,852	7,722,235
自己株式	△21,439	△21,439
株主資本合計	10,326,305	10,613,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,167	10,630
その他の包括利益累計額合計	11,167	10,630
非支配株主持分	744,990	1,263,895
純資産合計	11,082,463	11,888,215
負債純資産合計	21,364,152	22,788,300

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	12,672,259	14,012,384
売上原価	10,927,804	11,893,085
売上総利益	1,744,455	2,119,298
販売費及び一般管理費		
運搬費	316,649	361,063
給料及び手当	339,731	374,724
賞与引当金繰入額	102,594	120,976
退職給付費用	21,652	16,144
減価償却費	56,742	63,171
その他	459,442	479,470
販売費及び一般管理費合計	1,296,813	1,415,550
営業利益	447,642	703,748
営業外収益		
受取利息	1,644	7,030
受取配当金	21,250	28,517
受取賃貸料	15,106	15,809
持分法による投資利益	－	14,389
その他	8,048	6,637
営業外収益合計	46,049	72,384
営業外費用		
支払利息	6,494	7,400
持分法による投資損失	2,692	－
その他	538	825
営業外費用合計	9,724	8,226
経常利益	483,967	767,906
特別利益		
段階取得に係る差益	－	5,224
固定資産売却益	99	－
特別利益合計	99	5,224
特別損失		
固定資産除却損	126	220
特別損失合計	126	220
税金等調整前中間純利益	483,941	772,909
法人税、住民税及び事業税	156,214	265,666
法人税等調整額	△1,517	△14,832
法人税等合計	154,697	250,834
中間純利益	329,243	522,075
非支配株主に帰属する中間純利益	27,601	53,359
親会社株主に帰属する中間純利益	301,641	468,715

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	329,243	522,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,331	△375
その他の包括利益合計	2,331	△375
中間包括利益	331,575	521,700
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	303,672	468,178
非支配株主に係る中間包括利益	27,902	53,521

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	483,941	772,909
減価償却費	199,044	219,274
のれん償却額	－	622
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	18,489	12,574
受取利息及び受取配当金	△22,894	△35,548
支払利息	6,494	7,400
固定資産売却損益（△は益）	△99	－
固定資産除却損	126	220
持分法による投資損益（△は益）	2,692	△14,389
段階取得に係る差損益（△は益）	－	△5,224
売上債権の増減額（△は増加）	△164,642	255,510
棚卸資産の増減額（△は増加）	484,316	26,895
仕入債務の増減額（△は減少）	84,041	△453,850
その他の負債の増減額（△は減少）	△32,746	133,944
その他	△16,188	1,218
小計	1,042,574	921,561
利息及び配当金の受取額	27,303	40,428
利息の支払額	△6,467	△7,386
法人税等の支払額	△149,361	△200,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	914,049	754,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△300,934	△300,047
無形固定資産の取得による支出	△20,265	△49,556
定期預金の預入による支出	－	△500,000
貸付けによる支出	△250	－
貸付金の回収による収入	777	547
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	63,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,673	△785,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△200,000	△121,578
長期借入金の返済による支出	△28,836	△77,569
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13,357	△12,948
配当金の支払額	△133,224	△181,076
非支配株主への配当金の支払額	△17,052	△20,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,470	△413,257
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	200,906	△444,454
現金及び現金同等物の期首残高	3,129,061	4,700,030
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,329,967	4,255,576

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）及び当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。